

ユニちゃん奮闘記 #2



ユニバーサルファーム大戸
UNIVERSAL FARM OGUCHI Co., Ltd.

大戸町の美しい豊かな農地を守りたい――。

そんな熱い想いを胸に、耕作放棄地ゼロのまちを目指して日々挑戦を続ける「ユニちゃん（株式会社ユニバーサルファーム大戸）」の活動をご紹介します。

◆堆肥づくり ～仲間たちとともに～

試験的に小さなコンポストではじめてつくった堆肥。どんな成分が含まれているのだろう？野菜は育つのだろうか？

ぼくが心配していると、仲間たちが教えてくれた。「成分分析をやろう。」耕作放棄地だけの土と堆肥を混ぜた土で野菜をつくって、どちらがすくすく育つか比べてみよう！

仲間たちのおかげで、たくさん堆肥をつくれる場所が見つかったー！

みんなで話し合い、1年間で20トンの堆肥をつくることにした。ウナギの骨と木くずの分量をみんなで決めて、まずは半分の10トンの堆肥づくりにチャレンジ！

微生物が活発に働いてくれたら、分解や発酵が進んでくるはず！



小さすぎて目に見えない微生物の働きは、温度が70℃くらいに上がったかどうかで分かるみたい！

ぼくたちもがんばるから、
微生物さんもがんばってねー！



仲間たちを紹介します！



うなぎ専門店の
ひつまぶし備長 本店さん



リサイクルや廃棄物の処理が専門の
大和エンタープライズさん



農作物生産や六次産業が専門の
トレスプロ tradespro (ターフルファーム) さん

これからもがんばるので、

応援よろしくお願いします！！

◆ブルーベリー ～収穫のお手伝い～

・8月3日

こどもたちがブルーベリー畑にきてくれました



今年はじめて収穫するブルーベリー。こどもたちが手伝いに来てくれました。



食べごろを迎えたブルーベリーをたくさん収穫してくれたお礼に、冷凍ブルーベリーのプレゼント！

みんなありがとう！

今月のいきもの

メモ

大戸町に住む生き物や自然をご紹介します！！

今回は、田んぼで暮らす鳥「タマシギ」です！



タマシギのペア（手前がメス）

タマシギは、田んぼや湿地などを好み、その中に巣をつくり生活します。

オスよりもメスの方が色鮮やかな鳥で、一妻多夫の生態をもつ鳥類でも非常にめずらしい鳥です。

わずかな期間しか一緒に暮らさないみたいで、メスが去った後オスが卵を温め子育てをします。

目のまわりは白く、勾玉（まがたま）のような模様が特徴です。

これからもチャレンジし続け、大戸町が

「耕作放棄地ゼロのまち」

になることを目指します。

関心のある方、応援してくださる方は、

ぜひお気軽にご連絡ください！

【お問合せ・連絡先】

(株) ユニバーサルファーム大戸

☎ 81-7206

✉ universal_farm@kud.biglobe.ne.jp